長崎高教組

定通部だより

2016 年 12 月 7 日
第２号
発行責任者　烏山 隆弘

ホームページ　http://nagasaki-kokyoso.org
メールアドレス　info@nagasaki-kokyoso.org

第27回 定通部定期大会

2016年11月5日（土） 10:30～12:30　鳴滝高校図書館棟

１１月５日（土)、鳴滝高校図書館棟にて定通部第２７回定期大会を開催しました。
（出席５分会１０名、委任状４分会、欠席３分会）

１ 今年度の活動方針

昨年度の方針に加え、佐世保中央高校定時制夜間部に平成３０年度から導入されるエンカレッジコースについて、問題点を指摘し、現場の声を反映させることを新規に確認。大会の中で最も長い時間をかけ、予定時間を大幅に延長し討論を行いました。

第27回 定通部定期大会

長崎県立高等学校教育改革第８次実施計画（抜粋）

《３》定時制課程における多様な生徒への教育支援の充実

定時制課程においては、社会の変化に伴い、多様な入学動機を有する生徒が学んでいる。近年は、中学校時代に不登校であった生徒や発達障害のある生徒など、様々な支援を要する生徒のほか、これまでの学校教育において様々な「つまずき」の体験を有する生徒も増加傾向にある。

佐世保中央高等学校では、これらの多様な特性のある生徒や、社会への適応に自信を持てない生徒に対して、個に応じたきめ細やかな指導体制を整備してきた。特に昼間部では、社会的自立に向けた望ましい教育的支援を行うため、平成２６年度から文部科学省の研究指定を受けて「高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育」をテーマに障害に応じた特別の教育課程の編成（通級による指導等）に関する研究を進めてきた。

また、在籍する生徒の多くは何らかの形で就労しており、その勤務時間も昼間だけでなく午前や夜間のみなど、学習したい時間帯も多様化してきているほか、生涯学習の視点から、退職された方や主婦の方が再び高等学校で学びたいというニーズも高まっている。

これらの教育的支援に係る実践や研究の成果を踏まえて、従来の昼間部、夜間部と異なる、午後からの学習が選択できるコースを夜間部に設置することによって、定時制課程に対する幅広いニーズに応えていく。

なお、県南地区の鳴滝高等学校への導入については、佐世保中央高等学校での成果を踏まえたうえで、今後検討していくものとする。

＜導入する高等学校＞
佐世保中央高等学校定時制課程･･･平成３０年度
夜間部 ⟹ 夜間部　※エンカレッジコース（仮称）＜新設＞
おおむね午後１時～午後６時の時間帯で授業を行う。

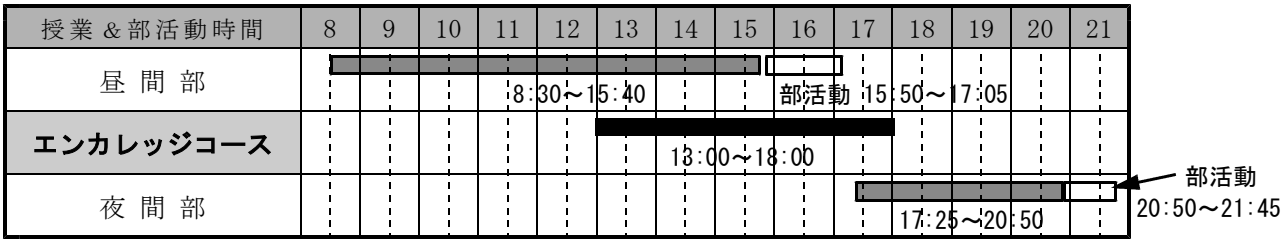
(1) 経過

月	日	曜	経　　過
9	6	火	県教委が高教組本部を訪問し、長崎県第８次教育改革について説明
9	7	水	臨時職員会議で長崎県第８次教育改革について校長が職員に説明 平成３０年度から佐世保中央高校夜間部が多部制に改変
9	8	木	県教委が「長崎県立高等学校教育改革第８次実施計画」を新聞発表

(2) 問題点・疑問点・矛盾点

① 内容について

様々な疑問点・問題点・矛盾点が報告され、討議しました。さらに学習を深め、具体的な問題点を整理することと次年度定通部交渉の中心テーマとして取り上げることを確認しました。



イメージ図

② 経緯について

教職員は新聞発表前日の臨時職員会議で初めてこのことを知る。現場の意見を全く聞かずに、そして、現場全体に知らせることなく県教委が一方的に策定したことが報告されました。

２ 昨年度のとりくみ総括

県教委交渉（定通部）で確認できたこと（㊐は県教委回答）

(1) 少人数学級編成を可能にする教職員加配

㊐：努力をする。国の加配でも、ニート対策や少人数指導等での加配もあるので検討する。

(2) ＳＳＷ・ＳＣをすべての定通制高校に配置

㊐：拡充を図る。配置校については総合的に判断するが、財政事情が厳しい。

(3) 教科書・夜食費の県単独予算措置による補助

㊐：勤労青年の修学支援という趣旨から今後も引き続き維持していきたい。

(4) キャリアサポートスタッフの継続的な配置

㊐：必要性は十分認識できている。継続して配置できるよう予算確保に努めていきたい。

(5) 退学者の就学奨励費返還義務を廃止

㊐：退学者の返還義務廃止については考えていない。

(6) 定通制における授業料全員無償化、当面、手続きの簡略化

㊐：定通制のみの無償化や手続きの簡略化は困難。

(7) 非正規職員率が高い定通制高校の正規職員配置割合アップと新規採用者数増

㊐：講師や再任用の方が、各学校に均等に配置できるよう努力したい。

３ 2016年度定通部役員

2016年度 長崎高教組定通部 役員	部　　長　濱本　功二（佐世保中央夜） 副 部 長　山本　朋子（佐世保中央通） 副 部 長　烏山　隆弘（鳴滝夜）
2016年度 全教定通部 役員	事務局次長　濱本　功二（佐世保中央夜）

2016年度 全教定通部 中国･四国･九州ブロック 学習交流集会 in 長崎

2016年11月5日（土）～11月6日（日）　鳴滝高校ほか長崎市内

「定通の交流、中華を満喫、被爆遺構を巡って平和学習、オプショナルツアーで歴史を学ぼう」

今年は、県教研定通部分科会の学習交流の幅を広げるスタイルで２日間実施しました。
参加者２０名（岡山１名、山口２名、香川３名、佐賀４名、長崎１０名）

第１部　ＳＳＷ実践報告

(1)「長崎県におけるＳＳＷ導入から今日まで」　今泉　宏（長崎高教組執行委員･定通部担当）

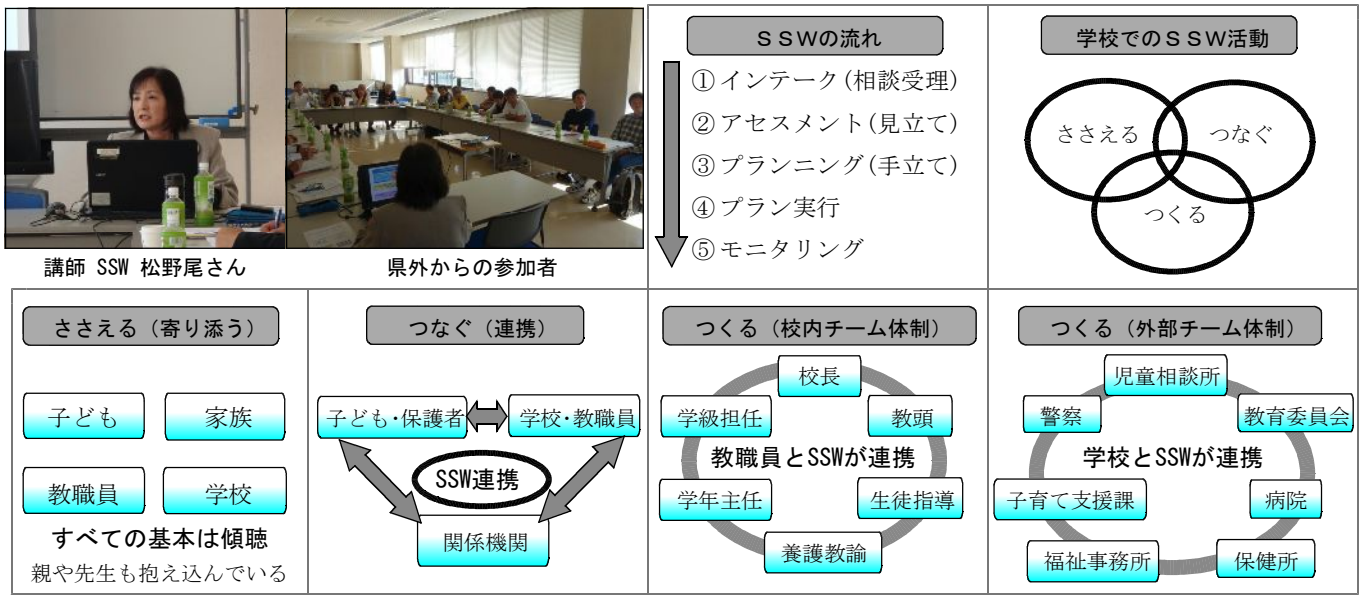
今では身近な存在の SSW。つい数年前まで、ほとんどの人が知らなかったのも事実。2011年以降、ゼロから動き出し、学習会を重ね、県教委を動かした。現在、県立高校配置は７名にまで拡大。

(2)「スクールソーシャルワークについて」　松野尾 千津子さん（長崎県教育委員会ＳＳＷ）

①子どもを取り巻く環境に働きかける⇦ 子どもは養育者や環境によって左右される弱者
②背景となる生活全般を見る視点⇦ 学校で「困った子」……実は、家庭では「困っている子」
　菓子パン万引きの背景には…虐待？　体臭が強い原因は、もしかすると…ネグレクト？
③調整、仲介、連携、チーム体制（生徒、親、学校、教員、関係機関のパイプ役等）

講師 SSW 松野尾さん

県外からの参加者



SSW が学校現場で果たす役割だけでなく、実践例等も紹介していただきました。参加者からは、質問や具体的な事例についての相談が相次ぎ、充実した学習会となりました。

第２部 夜間定時制・通信制生徒会実践報告

(1)「鳴滝高校夜間部の生徒会指導」　烏山　隆弘（鳴滝夜間）

生徒会関係レポート４本（①生徒会新聞、②ムービー、③新入生歓迎行事、④平和学習）を集約して報告。教師集団主導型の行事に盛り込まれてきた工夫を紹介。

(2)「鳴滝通信生徒会活動」　小田　誠（鳴滝通信）

生徒会活動の幅が近年広がっている。（鳴通祭、あいさつ運動、清掃活動、平和学習等）学習室だった部屋が生徒会室として生まれかわり、生徒たちが自主的に行事等を企画。行事紹介スライドも生徒会役員が中心になり作成。

通信制生徒会実践報告

第３部 各県報告・意見交換

・県中央部に１校（３部制＋通信制）と県西部に１校（２部制）新設。統廃合が加速する可能性。（山口）
・全教青年部学習交流集会を武雄市で１１月に開催。ろくろ廻しや絵付け体験等が大好評。（佐賀）
・農家と連携し、生徒が地元特産岩国レンコンを蓮田で収穫、岩国寿司を調理した。（山口）
・夜間駐車料金を徴収しないことと引き換えに、長期休業中も勤務時間の変更を認めない。（佐賀）
・小規模校にも教頭２名配置。その一方で、統廃合のため、配慮が必要な生徒への対応職員数が不足。職員室が無人になる時もある。（香川）
・２０年間続く高教組主催「定時制･通信制進学説明会」。内容は、学校説明や質疑応答、在校生や卒業生の本音トーク、保護者らの討論会、講演等。第３回から２会場開催。（佐賀市･伊万里市）後追いで県教委も同様の説明会を開催。その影響もあって第９回から停滞期。開催のあり方を再検討し、2015年度、リニューアル３部構成へ。会場の佐賀市立図書館は満員に。参加者数は下表のとおり（佐賀）

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9～19	**20**
年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004～2014	**2015**
参加者数	30＋	50	58	74	40	62	40	28	20－	**60＋**

・中学生と保護者対象の学校開放（１日間）を今年度から実施。予想を上回る50名が参加予定。（山口）

分科会① 被爆遺構巡り　　烏山　隆弘・今泉　宏（９名参加）

平和案内人２名によるガイドツアー。原爆資料館→山王神社（一本柱鳥居・被爆クスノキ）→旧長崎医科大学正門→浦上天主堂→平和公園→爆心地公園

山王神社　一本柱鳥居

分科会② 鳴滝高校通信制の見学と交流　　小田　誠（６名参加）

学校説明、授業見学（２時間を各前後半に分け４講座）、休み時間には、生徒会役員との交流。通信制の学校生活や志望動機等、現役生徒が質問に答えました。

参加者の感想

濱本 功二（佐世保中央夜間）

鳴滝高校のＳＳＷの松野尾先生のお話を聞き、改めて定時制、通信制の生徒の置かれている状況の厳しさが伝わりました。少しでも問題を抱えた生徒がいた場合は、一人で抱え込まないでＳＳＷに相談してチームで問題を解決することが大切だと理解できました。香川、岡山、山口、佐賀の方々との交流を深めることができました。

烏山 隆弘（鳴滝夜間）

「生徒と日々直接向き合うことができる先生だからこそ得られる情報を最も重要視します。」という松野尾さんの言葉にあらためて身が引き締まる思いがします。心のアンテナの感度を上げておく必要性を感じた２日間でした。集会に参加したみなさんが、長崎で感じたことを持ち帰り、地域や現場で活用していただけると嬉しいです。

馬渡 公宏（佐世保中央夜間）

中四九ブロック学習交流集会にはじめて参加しました。鳴滝高校のＳＳＷの松野尾先生のお話を興味深く聞かせていただきました。鳴滝夜間部の音楽を取り入れたユニークな生徒会活動、鳴滝通信制の少ない面接日の中での工夫した取り組みは参考になりました。また、２日目は鳴滝通信制の生徒さんと話すことができ、目標を持った学校生活を送っていることが伝わりました。

中華料理で交流会　18名参加 ちゃんぽん＆皿うどん